

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【公表番号】 特表 2002-530713 (P2002-530713A)
 【公表日】 平成 14 年 9 月 17 日 (2002.9.17)
 【出願番号】 特願 2000-584331 (P2000-584331)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/28 (2006.01)
G 0 2 B 5/02 (2006.01)
G 0 2 B 5/08 (2006.01)
G 0 2 B 5/18 (2006.01)
G 0 2 B 5/26 (2006.01)
G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/28
 G 0 2 B 5/02 B
 G 0 2 B 5/08 A
 G 0 2 B 5/18
 G 0 2 B 5/26
 G 0 2 B 5/30

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

異なる屈折率を有する少なくとも 2 種類の異なる材料を含む光学的反復ユニットの誘電積層体であって、前記積層体内で伝播する光が前記積層体と空気との界面において内部全反射を生じる臨界角を有する誘電積層体と、

前記誘電積層体に光学的に結合されて、第 1 表面に入射する光の少なくとも一部を、前記臨界角を超える伝播角度で前記誘電積層体に結合するように選択的に処理された第 1 表面と、

前記誘電積層体に光学的に結合され、前記誘電積層体内を伝播する光の少なくとも一部を、前記臨界角を超える角度で前記積層体から離して選択的に処理された第 2 表面と、を含み、

前記臨界角を超える伝播角度で前記積層体に光を結合するか、または前記積層体から離して光を結合するための前記第 1 および第 2 表面の少なくとも一方の結合効率が、前記誘電積層体の異なる領域において異なることを特徴とする誘電反射器。

【請求項 2】

屈折率が異なる少なくとも 2 種類の異なる材料を含む光学的反復ユニットの誘電積層体であって、第 1 角度未満の伝播角度で前記積層体内を伝播する特定波長の光の第 1 反射特性と、第 2 角度を超える伝播角度で前記積層体内を伝播する特定波長の光の第 2 反射特性とを有し、前記第 2 角度が前記第 1 角度以上である誘電積層体と、

前記誘電積層体に光学的に結合されて、特定波長の光の少なくとも一部を、前記第 2 角度を超える前記誘電積層体内における伝播角度で前記誘電積層体に結合するように選択的

に処理された第 1 表面と、

前記特定波長の光であって、前記第 2 角度を超える伝播角度で前記積層体内を伝播する光の少なくとも一部を前記積層体から離して結合するように選択的に処理された第 2 表面と、
を備え、

前記第 1 表面および第 2 表面の少なくとも一方の結合効率が、前記誘電積層体の異なる領域において異なることを特徴とする誘電反射器。

【請求項 3】

第 1 表面と第 2 表面とを有する多層誘電積層体であって、前記多層誘電積層体は予め決められた帯域幅内の光を実質的に反射し、前記帯域幅の帯域端部が、前記第 1 表面に直接入射する光に関して前記誘電積層体を貫通する伝播の最大角度により画定される多層誘電積層体と、

前記予め決められた帯域幅内の光が、前記最大角度を超える伝播角度で前記誘電積層体に入射することを可能にするように、前記第 1 表面の少なくとも一部上に形成された入力層と、

前記第 2 表面の少なくとも一部に形成された出力層であって、光が、前記入力層および出力層に対応する位置で誘電積層体を選択的に透過するように、前記最大角度を超える伝播角度で前記誘電積層体を貫通して伝播する光の内部全反射を防止する出力層と、
を含むことを特徴とする誘電反射器。

【請求項 4】

前記誘電積層体が、少なくとも 2 種類のポリマー材料の層を含み、少なくともひとつのポリマー材料が歪誘発複屈折を示すことを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の誘電反射器。

【請求項 5】

前記誘電反射器が反射偏光子を含むことを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の誘電反射器。